

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

PTX+CBDCA +Bevacizumab療法

3週毎 3～6 コース予定

疾患名 卵巣癌(StageⅢ以上)

主治医 指導医 HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()
スケジュール

		day1
ベバシズマブ	15 mg/kg	↓
パクリタキセル	175 mg/m ²	↓
カルボプラチン	AUC 6	↓

【注意】 * パクリタキセルはインラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を使用し、DEHPフリー点滴セットを使用すること。

* アルコール過敏 有・無

* ベバシズマブの点滴時間は初回投与時は90分かけて点滴静注、2回目の投与は60分間で行って良い。それ以降は忍容性が良好であれば、30分間投与でも良い。

* ベバシズマブ併用化学療法終了後、ベバシズマブ単独投与を継続すること。

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

day1

- | | |
|---|---------------------|
| ① 生食 500 mLで血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
| ② ベバシズマブ + 生食 適量(全量100 mL) | 点滴静注90～30分 |
| ③ レスタミン(10 mg) 5錠 | 内服 |
| ④ ファモチジン 20 mg + デキサメタゾン 16.5 mg | 側管静注 |
| ⑤ パロノセトロン 0.75 mg + アロカリス 235 mg + 生食 100 mL | 点滴静注30分(200 mL/時間) |
| ⑥ パクリタキセル + 5%ブドウ糖 500 mL | 点滴静注180分(167 mL/時間) |
| ⑦ カルボプラチン + 5%ブドウ糖 250 mL | 点滴静注60分(250 mL/時間) |

◎ 終了後メインの生食でルート内フラッシュ

福岡大学病院化学療法プロトコール審査委員会承認 (平成26年1月24日) A1025

2022年12月22日改訂

day2, 3 必要時 デキサメタゾン錠 4 mg 内服

	1コース	2コース	3コース	4コース	5コース	6コース
月日	/	/	/	/	/	/
ペバシズマブ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
パクリタキセル 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
カルボプラチン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認						